

東京都がん検診センター
医療連携 都がん便り

公益財団法人 東京都保健医療公社
東京都がん検診センター
所在地 〒183-0042 府中市武蔵台2-9-2
TEL 042-327-0201 (代表)
<http://www.tokyo-cdc.jp>



新年のご挨拶

東京都がん検診センター
所長 阿部 和也



皆さま、明けましておめでとうございます。また、旧年中のご厚誼に感謝申し上げます。昨年の4月に赴任し、9か月間を無事過ごせましたのも、皆さまのおかげと存じております。前任地である同敷地内の多摩総合医療センターでも医療連携を担当していたことが幸いし、お顔を存じ上げている先生方が多かったのではあります。まったく違う立場での連携となり、いろいろ学ばせていただきました。大変ありがとうございました。

今年は大変な対応が迫られる忙しい1年になりそうです。改元と、それに関連する未曾有の10連休が4月から5月にかけてあり、10月には消費税の税率アップがあります。そのほかにも4月から働き方改革が本格化しますし、ラグビーW杯が開催され、2020年東京オリンピック・パラリンピックの準備も本格化します。大変なのは医療機関だけではないと思いますが、特に医療機関にとっては厳しい1年であると思います。

医療情勢も刻々と変化しており、私どもの設置者である東京都保険医療公社も昨年新理事長を迎え、いよいよ今年大きく力強い一歩を踏み出すことになると思われます。東京都がん検診センターでも、一次検診から二次検診へ軸足を移す作業が本格化します。昨年度までは所長を中心に各診療所などの医療機関にご挨拶とお願いに伺いましたが、今年からは、各診療科の責任者を中心にご挨拶に伺い、より臨床に密着した連携を構築するようにしてまいりたいと存じます。

機能分化、医療連携が重要なのはいうまでもありませんが、そのためには各医療機関が健全に機能することが前提であると思います。当センターの健全な運営を維持すべく努めるとともに、連携各医療機関の運営の一助となれるよう努力していく所存でございます。

本年も何とぞよろしくお願い申し上げます。





各診療科からのご挨拶



副所長 入口 陽介（消化器内科）

当センターでは、これまで、がん検診センターとして一次検診から二次精密検査・術前検査まで、精度の高い検診・検査を提供できるように診療および臨床研究を行ってまいりました。

今年から、約5年後の多摩メディカルキャンパス構想の実現を目指して、地域の医療機関の皆様のニーズに対応し、より精度の高い精密検査・術前検査を迅速に提供できるような体制づくりに取り組み、専門外来を設置して、外来及び検査の予約が取りやすいよう工夫してまいります。皆様のお役にたてる施設、精密検査センター及び内視鏡治療センター、日帰り手術センターを目指して頑張りますので、今年もよろしくお願ひ申し上げます。

検査科部長 山村 彰彦

検査科では、一次検診のうち子宮がんと肺がん検診での細胞診検査、大腸がん検診での便潜血検査、また、精密検査では食道・胃・大腸などの消化器、婦人科と乳腺などの生検を中心とした病理組織や細胞診診断を行っており、臨床画像と対比し詳細に検討しています。乳腺や腹部超音波検査も超音波検査士により施行し、がんの早期発見のための技術指導も個別研修の形で受け入れております。当センター細胞検査士養成所の一部の講座は公開しており、個別研修も行っています。本年もよろしくお願ひいたします。

呼吸器内科医長 鳥居 陽子

昨年はお世話になりました、誠にありがとうございます。

日常診療、健康診断にて指摘された「胸部異常陰影」に対して精密検査を行っております。昨年9月末にCT装置が更新しまして、受診者さんに対してよりやさしく、被ばく量が少なく検査が行えるようになりました。

紹介いただきました方につきましては初診日にCT検査とその結果通知を行うようにしております。

今年もよりよい診療連携に向け努力してまいります。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

消化器内科医長 小田 丈二

消化器内科では、胃がん、大腸がんの一次検診をはじめ、精密検査、内視鏡治療、術後のフォローアップ内視鏡検査まで、地域の医療機関の皆様方のニーズにお応えできるような消化器疾患の専門性の高い精密検査施設としてお役にたてるよう、今後も努力してまいります。

診断精度の高い、かつ安全な検査、内視鏡治療を心掛け、何より受診者の皆様には親身になって接し、分かりやすい言葉で説明し、適切な治療方針を一緒に考えられるよう、寄り添っていきたくと考えております。

本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

内視鏡内科医長 水谷 勝

日頃より患者様をご紹介下さりまして、誠に有難うございます。

当センター内視鏡室では、特殊光観察を装備した最新のハイビジョン式内視鏡を用い、安全で精度の高い内視鏡検査を行っております。

同じキャンパス内にある多摩総合医療センターとの連携のもと、術前検査および内視鏡治療も積極的に行っております。

ご紹介いただいた患者様に対しては、迅速に検査を行い、紹介先の先生方の力になるべく日々努めてまいりますので、本年も何卒宜しくお願ひ申し上げます。

乳腺腫瘍外科医長 松浦 篤志

昨年末より、トモシンセシスというマンモグラフィの断層撮影を、当センターでも導入いたしました。

これにより乳腺の重なりがなくなり、より精度の高い検査が可能になります。今後検診や精密検査に生かしていきたいと思っています。

今年も質の高い検査、正確な診断、治療施設への適切な紹介などを心がけ、多くの患者さんのお役にたてるように努力いたします。

本年もよろしくお願ひいたします。

婦人科医長 高江 健太郎

婦人科では、以前からご案内しております通り、主に一次医療機関等で子宮頸部細胞診異常が見られた方について、精密検査・経過観察等を行っております。治療が必要な場合には、多摩総合医療センターを中心に、治療施設へ速やかに紹介しております。地域の先生方には、日ごろの医療連携等で大変お世話になっており、この場を借りまして厚く御礼申し上げます。引き続き、精度の高い診療・検査に努めて参ります。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

放射線科技師長 井手 朋恵

放射線科では、一次検診として胃造影検査・マンモグラフィ・胸部単純撮影を、精密検査としてCT検査・注腸検査・マンモトーム生検等を行っております。昨年10月にCTとマンモグラフィ装置が更新となり、より質が高く安心安全な検査の実施に努めております。特に大腸CTにつきましては負担が少なくかつ精度の高い検査を目的に前処置や検査方法を変更いたしました。当センターでの検査が地域の先生方の診療活動にお役立ていただければ幸いです。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

検査科技師長 近藤 聡

明けましておめでとうございます。検査科では「親切・丁寧・お待たせをしない」をモットーに、専門分野ごとに細胞検査士、超音波検査士、JATBSなどの学会認定資格を取得した技師が迅速で正確な検査結果報告を行っております。また、細胞検査士養成所の運営や乳がん検診従事者講習会、細胞診検査や乳腺超音波検査の個別指導などの人材育成と医師、保健師の協力を得て子宮頸がん検診受診の啓発活動に取り組んでいます。今年もよろしくお願ひします。

平成30年度 胃X線検査従事者講演会のお知らせ

【テーマ】胃X線検診のための読影判定区分と技師読影補助について

【講師】宮城県対がん協会がん検診センター 副所長 加藤 勝章 先生

【日時】平成31年2月22日（金）18:00～20:00

【会場】東京都がん検診センター 3階講堂

【対象】胃X線検査に従事している医師、放射線技師、臨床検査技師、事務等

※詳細は当センターホームページをご覧ください。

医療連携室からのお知らせ



大腸CT検査（CTコロノグラフィー検査）のご案内

CTコロノグラフィー検査は、大腸内視鏡検査の挿入が困難かつリスクを伴うと判断された方、ご高齢で大腸内視鏡検査が困難と判断された方にもお勧めです。

当センターでは3DワークステーションをAMIN社製Zio Station2に更新し、画像処理精度が大幅に向上しました。更に、前処置負担を軽減（※）することで、患者さんにも優しい検査となるよう努めています。

※詳細は、別紙「大腸CT検査 前処置変更のお知らせ」をご覧ください。

〈申し込み方法〉

紹介元の医療機関様から、医療連携室へ電話またはFAX申込書でお申し込みください。まずは、消化器内科外来の初診受診日をご予約させていただきます。検査のみの利用（結果説明は紹介元の医療機関様にて実施）も可能ですので、ご要望がありましたら、ご予約時にお伝えください。

〈CTコロノグラフィー検査依頼の流れ〉

①FAXまたは電話にてお申し込みください。

②初診日にはCTコロノグラフィー検査は行いません。医師と相談の上、検査日を決めます。

③当センターにてCTコロノグラフィー検査の説明及び同意書の取得を行います。

地域の医療機関

かかりつけの医院
やクリニック

紹介 ↓ ↑ 返送

東京都がん
検診センター

⑤検査後4～5日で、医療連携室より読影結果と画像（CD-R）を発送します。

④検査予約日に、前処置を行った上でCTコロノグラフィー検査を行います。

ご不明な点がございましたら、お気軽に医療連携室へお問い合わせください。

《医療連携「都がん便り」に関するお問い合わせ》

医療連携室（保健指導係） 担当：丹羽、横山、蒲野

電話番号 042-327-0201（代表）内線 2217

FAX 042-327-0450（医療連携室直通）

大腸 CT 検査 前処置変更のお知らせ

前処置で飲む洗腸液の量が **1/10** になりました



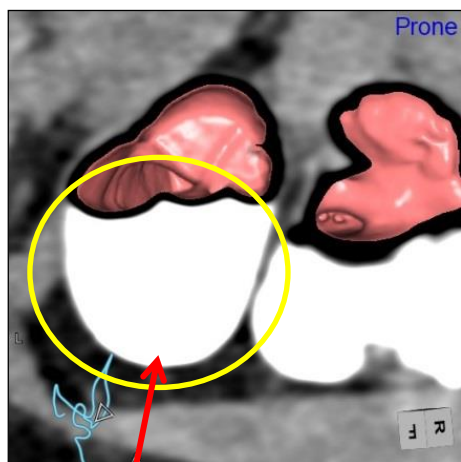
2018年12月より大腸CT検査の前処置が変わりました。従来の前処置では検査前日に下剤を服用し、さらに当日1800mlの洗腸液を飲用していました。新たな前処置方法では、洗腸液が **180ml** になりました。

大腸 CT 用造影剤を導入しました→**精度向上！！**



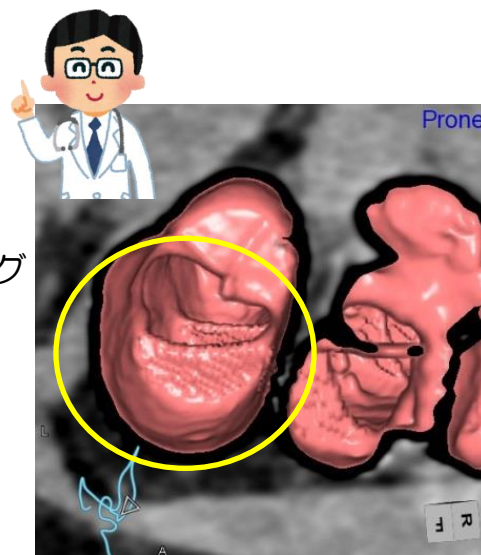
伏見製薬所製「コロンフォート」

大腸CT用経口造影剤「コロンフォート」を導入しました。検査前日に服用することで大腸内の残渣・残液を標識します。3Dワークステーションにて画像処理を行うことで画像診断における残渣・残液と病変の識別が可能となり、今まで見えなかったところが見えるようになりました。



標識された残渣・残液

デジタルクレンジング
処理



近隣医療機関様からの検査も受けております。

下記までお問い合わせ下さい

検査予約

医療連携室 TEL 042-327-0201(代) 内線 2245

FAX 042-327-0450 (医療連携室直通)

検査のお問い合わせ

放射線科 042-327-0201(代) 内線 2390